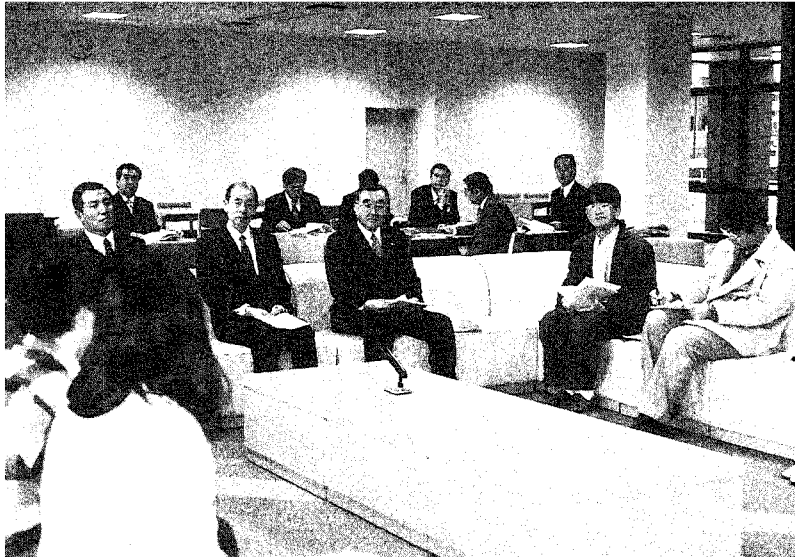


# 幸住県やまなし

## 移動知事室が行われました



子どもまつりの皆さんと対話する天野知事

一月十七日、移動知事室が行われました。都留市では、昭和六十一年以来、十一年ぶりのことで、天野県政になってからは、初めてです。

この事業は、知事が掲げる『幸住県やまなし』を推進するため、知事が地域の皆さんと直接対話し、地域の現状や将来のまちづくりのビジョンについて率直に意見交換を行い、『県民主役の県づくり』を進めていこうというものです。

今回の移動知事室は、知事が地域で活躍されている団体を訪ねる、訪問対話形式で行われました。

この日の午後、都留市に到着した天野知事は、市役所を表敬訪問した後、まず、都留文科大学を訪れ、つる子どもまつり実行委員会の皆さんと意見交換を行いました。子どもまつりは、毎年五月の第三日曜日に都留文科大学を中心に開催されています。都留市民にとってすっかり定着したこのイベントも今年で二十八回目を数えます。

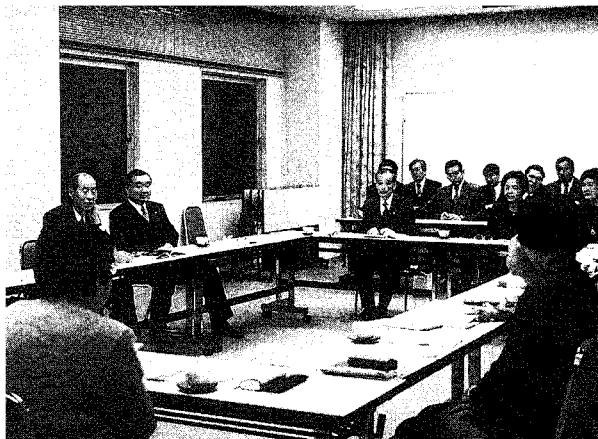
天野知事は、学生と地域住民がともに力を合わせて、育み、培ってきた子どもまつりは、他に例のない学園都市都留市ならではのすばらしいイベントではないかと、感想を述べました。

次に訪れたのは、八朔祭屋台展示庫。早馬町屋台保存会の皆さんが天野知事を迎え、毎年九



八朔祭屋台展示庫

## 県民主役のまちづくり



古文書教室

月一日の八朔祭に行うお囃子<sup>はやし</sup>を披露しました。当初は、小学生が中心として練習を重ねてきたこのお囃子も、昨年からお母さん方が参加し、一層充実しました。

かけがえのない文化遺産を後世に伝えようとしている皆さんに対し、天野知事は、歴史・文化の発信拠点としてがんばってほしいと言葉をかけました。

知事は、この後、ふるさと会館に向かい、古文書教室、増田誠美術館を視察しました。

古文書教室は、都留市郷土研究会会員などが中心となり月に一度の割合で開催されています。郡内の埋もれた文化財の掘り起こしなど地域の歴史に関心をよせている皆さんと文化や歴史などについて対話を行いました。